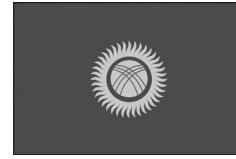


3. 研修国（キルギス共和国）概要

- ◆正式名：キルギス共和国
- ◆首都：ビシュケク
- ◆言語：キルギス語（国語）、ロシア語（公用語）
- ◆宗教：主としてイスラム教スンニ派
- ◆民族：キルギス系（73.3%）、ウズベク系（14.7%）、ロシア系（5.6%）、ドゥンガン系（1.1%）、ウイグル系（0.9%）、タジク系（0.9%）、等
- ◆面積：19万8,500平方キロメートル（日本の約半分）
- ◆人口：610万人（2018年）
- ◆気候：晴天の日が年間平均322日。年間の降水量は少ない。国土の9割が標高1500mで冬場は厳しい寒さ。首都ビシュケクの1月の平均気温は-2.6度。
- ◆教育：4・5・2制で、6～15歳又は7～16歳の9年が義務教育機関。小学校の就学率はほぼ100%だが、中等学校では80%程度。15歳～24歳の若者の識字率は100%。
- ◆日本との二国間関係：輸出 18.31億円（一般機械、ゴム製品）
輸入 41.18億円（金（マネタリーゴールドを除く）、糖類及び同調製品・はちみつ）



キルギスは1991年の独立後、中央アジア諸国の中でもいち早く民主化、市場経済化を推進しましたが、金以外の有力製品の不在や投資環境の未整備等により、十分な外口投資を誘致できなかったことから安定した経済成長の軌道に乗れず経済は停滞しています。JICAは、市場経済化に基づく経済成長を通じた貧困削減促進を支援の目標とし、経済成長のための基盤整備として主に運輸インフラ整備、農業・農村開発、市場経済化に資する人材育成の分野で協力を実施しています。

（JICAキルギス HPより）

